

徳山ダムを訪ねる(1)

日本最大のロックフィルダム・徳山ダムをはじめて訪れた。ダム本体はほぼ完成して
いて、まもなくダム湖に水が貯められる予定だ。旧徳山村が水没する前に、現地を見た
かったので、複雑な思いで現地を
訪ねた。

高い山に囲まれた揖斐川上流域
を堰きとめて、高さ 161m のダム
を建設する公共事業であり、巨大
なダンプカーなどを使って工事を
進めた。ロックを積み上げたダム



は、とにかく巨大な要塞のようである。上から眺めると、川底で作業をしているダンプ
が小さく見える。満水時のダム湖の面積は諏訪湖に匹敵し、総貯水量は浜名湖の 2 倍と
いわれる。



巨額の税金を投入してダムが完成し
ても、当面は水利権をもつ名古屋市など

は利水の予定はない。水が余っており、利水するにも導水路の建設には 900 億円が必要
と見込まれ、愛知県や岐阜県、名古屋市などに新たな負担が発生する。

とにかく、遠くに見える徳山の集落は、まもなく水没する。ダムという巨大公共事業
の問題を考えながら、景色をカメラにおさめた。 (2006年9月4日 記)